

1 たつしさんと祖父が話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

たつし 「おじいちゃん、『伝統工芸品』と『伝統的工芸品』ってどうちがうの？」

祖父 「よく似ているけど、実は大きなちがいがあるんだ。『伝統工芸品』は、昔から受けつがれてきた技術や素材を使って作られる、広い意味での手仕事で作られた品のことだよ。例えば、おばあちゃんが使っているこのお茶わんも、手作りだから広い意味では伝統工芸品と言えるね。『伝統的工芸品』は、国が指定した工芸品のこと、〔資料1〕のような5つの要件があって全部満たさないといけないんだよ。」

たつし 「伝統的工芸品は、いくつあるの？」

祖父 「〔資料2〕を見てごらん。2024年の時点では、全国に243品目あるんだ。ただし、重複しているものもあるんだよ。」

たつし 「指定品目数が一番多い都道府県は東京都で、次に多い都道府県は 1 と 2 だね。この上位3つの都道府県の合計指定品目数は全体の 3 %をしめるね。反対に一番少ないのは青森県とおおいた大分県で1品目だね。必ずどの都道府県にも1つ以上は伝統的工芸品があるんだね。おもしろいね。」

〔資料1〕 伝統的工芸品の要件

1. 主に日常生活で使う目的で作られているもの
2. その製造過程の多くの部分が手作りであるもの
3. 伝統的な技術または技法により製造されるもの
4. 伝統的に使用されてきた原材料を主に使って、製造されるもの
5. 工芸品を製造している地域において、一定数の者がその製造を行い、またはその製造に関わっているもの

(経済産業省ホームページより作成)

(1) 〔会話文1〕の 1 ・ 2 にあてはまる都道府県名を書きましょう。また、 3 にあてはまる数を、小数第一位を四捨五入して整数で答えましょう。なお、上位3つの都道府県にまたがる指定品目の重複はありません。

〔資料2〕 都道府県別伝統的工芸品指定品目数一覧

地域	都道府県	指定品目数	地域	都道府県	指定品目数	
北海道	北海道	2	近畿	滋賀	3	
東北	青森	1		京都	17	
	岩手	4		大阪	9	
	宮城	4		兵庫	6	
	秋田	4		奈良	3	
	山形	5		和歌山	3	
	福島	5	中国	鳥取	3	
関東・甲信越	茨城	3		島根	4	
	栃木	2		岡山	2	
	群馬	2		広島	5	
	埼玉	5		山口	3	
	千葉	2	四国	徳島	3	
	東京	22		香川	2	
	神奈川	3		愛媛	2	
	新潟	17		高知	2	
	東海	山梨	3	九州	福岡	7
		長野	7		佐賀	2
岐阜		6	長崎		3	
静岡		3	熊本		4	
愛知		15	大分		1	
三重	5	宮崎	2			
北陸	富山	6	鹿児島	3		
	石川	10	沖縄	沖縄	16	
	福井	7				

(経済産業省ホームページより作成)

〔会話文2〕

たつし 「おじいちゃん、なんで東京って伝統的工芸品が一番多いの？」

祖父 「それはね、江戸時代と深く関わっているんだよ。東京は昔は江戸と呼ばれ、江戸時代には将軍がいて、たくさんの武士や町人が暮らしていたんだ。当時はすごい数の人たちが集まっていて、世界でもトップクラスの大都市だったんだ。」

たつし 「へえ、そんなに人が多かったんだ。」

祖父 「そうだよ。だから、みんなが使うものがたくさん必要になるだろう？ 刀の鑢や着物、それに浮世絵を描くための道具とか、色々なものが作られたんだ。『うでのいい職人は江戸に行けば仕事がある』と言われ、全国からたくさんの人が集まってきたんだ。」

たつし 「そうだったんだね。」

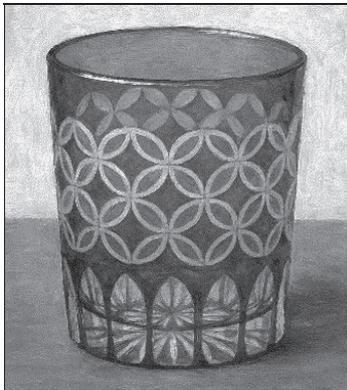
祖父 「それから、江戸時代は260年以上も続いた平和な時代だったから、職人は1つの技術をじっくりとみがき上げて、次の世代に受けついでいくことができたんだ。」

たつし 「昔からの技術を現代まで受けついできた職人さんはすごいね！」

祖父 「あとは、江戸っ子の『粋』という感覚も関係してるんだ。『粋』というのは、ただきれいなだけじゃなくて、さりげないおしゃれや、奥ゆかしさがあることだよ。江戸切子〔資料3〕や江戸小紋〔資料4〕などの工芸品には、その『粋』がたくさんつまっているんだよ。」

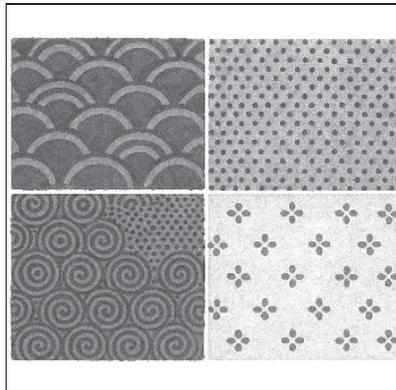
たつし 「なるほど！ だから東京には、さまざまな工芸品が残っているんだね。」

〔資料3〕 江戸切子



江戸切子はガラスにきれいな模様をけずって作る工芸品。光があたると模様がとてもきれいに光る。

〔資料4〕 江戸小紋



江戸小紋は着物になる布を小さくて細かい模様に染めたもの。遠目には無地にも見える細かい様々な小紋柄が特徴。

- (2) 江戸切子や江戸小紋の模様の1つに、複数の円形を重ね合わせる「七宝^{しっぽう}」という模様があります。以下の〔図1〕は、半径4cmの円によってかかれた七宝の模様の一部です。色のついている4か所の部分の面積の合計を答えましょう。なお、円周率は3.14で計算しましょう。



- (3) 〔会話文2〕からわかる、東京に伝統的工芸品が多い理由をたつしさんが次のようにまとめました。□にあてはまるものとして正しいものを次のア～オより全て選び、記号で答えましょう。

東京に伝統的工芸品が多い理由は

だと考えられます。

- ア 江戸に人が集まったことで、生活に必要な道具などが大量に必要とされたから
- イ 江戸には天皇がいて、武士が住んでいたので、着物や刀などが必要とされたから
- ウ 江戸に行けば仕事があると言われ、全国から職人が集まってきたから
- エ 平和な時代が続く中で、「粋」という独自の感覚によって、工芸品の技術がみがかれたから
- オ 1人の職人が、さまざまな工芸品の技術を習得し、次世代へと受けついできたから

〔会話文3〕

たつし 「おじいちゃんは、このおわん〔資料5〕をすごく大切にしているよね。」

祖父 「これはね、私がまだ若いころ、石川県の能登^{のと}の職人さんからゆずり受けた『輪島塗』^{わじまぬり}の漆^{うるし}わんだよ。修理しながら50年以上も大切に使い続けているから、まだこうして艶^{つや}を保っているんだ。」

たつし 「そんなに長く使えるの？」

祖父 「そうだよ。このおわんのように、使いこむことで色合いが少しずつ変わって味わいが増したり、修理をしながら長く使えたりすることは伝統的工芸品の魅力^{みりょく}だね。それに、使う人のことを考えて作られているからとても使いやすいし、高度な技術がつくり出すおしゃれなデザインも、長い間使いたいと思われる理由だと思うよ。」

たつし 「自分の好きな物を長い間使い続けられるのは、何だかうれしいね。」

祖父 「それに、伝統的な工芸品はただの『物』じゃないんだ。作った人の技と心が宿っているんだよ。職人さんが手作業で漆を何度もぬり重ね、乾^{かわ}かし、みがき……その手間と時間が、この丈夫^{じょうぶ}さと美しさをうむんだ。」

たつし 「でも、今はもっと安くて丈夫なプラスチック製の食器もあるよ？」

祖父 「確かにそうだね。だけど、安い物は便利でも、心までは満たしてくれないことが多いんじゃないかな。伝統的工芸品の中にはその地域^{とくちょう}の特徴をいかした天然の原材料を使っている物も多く、こういう器でご飯を食べていると自然や食べ物を大切にしようという気持ちがうまれてくるよ。」

たつし 「そういえば、授業で先生が『伝統的工芸品はその地域の歴史や土地の気候と深く結びついている』と教えてくれたよ。伝統的工芸品を通じて、日本各地の歴史や地域の特徴も知ることができそうだね。でも、いくつかの伝統的工芸品の値段を教えてもらったけど、どれも高くって驚いたよ。」

祖父 「確かに、伝統的工芸品の中にはとても高い値段のものがあるよね。でも決して値段が高いから価値があるわけではなくて、そこにこめられた『物語』と『時間』が価値なんだよ。職人は、木の声を聞き、土のにおいをかぎ、何十年もかけて技をみがく。その積み重ねが、私たちの手元に届くんだよ。」

たつし 「なるほど、何だかこのおわんでご飯を食べたら、もっと大事に味わえそう。」

祖父 「そうだね。伝統的工芸品は、私たちに様々なことを静かに教えてくれる先生みたいなものなんだ。」

たつし 「昔から、現代まで時間をかけて受けつがれてきた伝統的工芸品が、全国に243品目もあるなんてなんだか誇^{ほこ}らしいね。」

〔資料5〕 輪島塗の漆わん



- (4) 次の〔資料6〕は日本人が「日本の国や国民について誇りに思うこと」の調査結果です。〔資料6〕の項目と結びつく、伝統的工芸品の魅力や価値とはどのようなものがあるでしょうか。〔会話文3〕を参考に、〔資料6〕の項目から2つ選び、それぞれ説明しましょう。

〔資料6〕 日本の国や国民について誇りに思うこと（2022年）

順位	項目	割合
1位	治安が良いこと	79.4%
2位	安全な暮らし	64.0%
3位	食文化	60.5%
4位	すぐれた文化・芸術	59.5%
5位	美しい自然	59.3%
6位	公共交通・インフラの整備	51.5%
7位	長い歴史と伝統	51.2%
8位	国民の勤勉さ・才能	46.5%
9位	国民の人情味	45.5%
10位	アニメやファッションなどの若者文化	40.2%

（経済産業省ホームページより作成）

〔会話文4〕

たつし 「たくさんの伝統的工芸品があるけど、どのくらい作られているの？」

祖父 「〔資料7〕を見てごらん。実は伝統的工芸品の生産額と伝統的工芸品に関わる従業員数は減少しているんだ。」

たつし 「どうして生産額も従業員数も減っているの？」

祖父 「今は機械で大量生産できる時代になり、手仕事の価値が見えにくくなっているんじゃないかな。〔資料8〕からは、伝統的工芸品の生産額が減少している理由がわかるよ。」

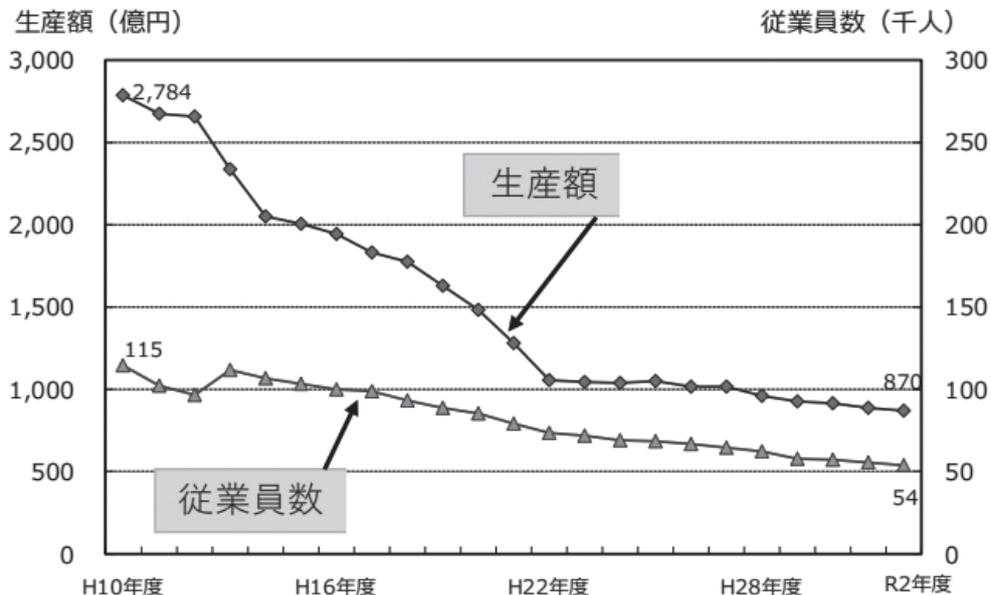
たつし 「〔資料8〕によると、1位は『国内需要全体の低迷』で、2位は『ライフスタイルの変化による製品需要の低下』だね。需要って、どういうこと？」

祖父 「『需要』とは、ある商品が買い手からどれだけ求められているかをあらわすんだよ。『ライフスタイルの変化による製品需要の低下』とは、『生活様式の変化によって伝統的工芸品を買おうとする人が減った』ということだね。具体的にどんなことが考えられると思う？」

たつし 「うーん。例えば、ということが考えられるかな。」

祖父 「そうだね。一方で、現場の職人も、伝統的工芸品を将来に残していくために様々な取り組みや工夫をしているんだよ。」

〔資料7〕 伝統的工芸品の生産額・従業員数の推移



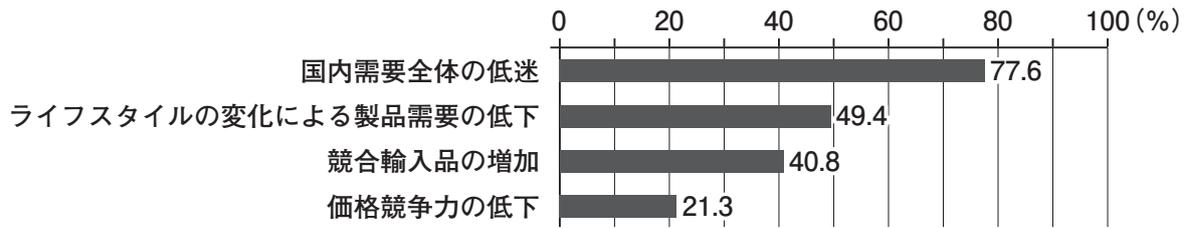
(経済産業省ホームページより作成)

(5) 〔資料7〕を見て、次のA・Bの説明が正しければ○を、まちがっていれば×を、それぞれに書きましょう。

A 令和2年度の生産額は、20年前と比べて約4分の1に減少している。

B 従業員数は平成10年度から毎年減少し続けている。

〔資料8〕出荷水準低下の背景（複数回答）



（経済産業省ホームページより作成）

- (6) 〔会話文4〕の に入る、「ライフスタイルの変化による製品需要の低下」の具体例を考えて答えましょう。

- (7) 次の〔資料9〕は、『伝統的工芸品』に指定されている工芸品の一部と、その生産に関わる企業や地方自治体による取り組みの例です。さまざまな伝統的工芸品を将来に残していくために、どのようなことが大切だと考えられますか。〔資料9〕を参考に、例を3つあげながら説明しましょう。

〔資料9〕『伝統的工芸品』と、その生産をする企業や地方自治体の取り組み事例

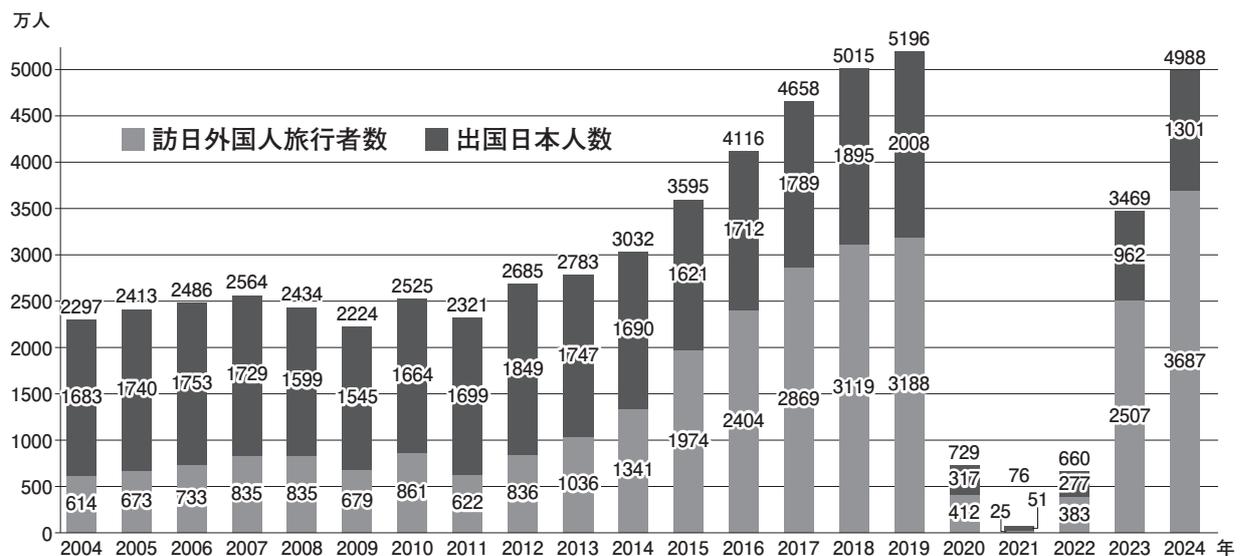
<p>I 江戸切子（東京都）</p> 	<p>江戸切子はガラス製品で、手作業でけずってつくる様々な綺麗な模様が特徴です。</p> <p>最近では若手の女性職人が増えており、伝統技法を尊重しつつ繊細な感性による新しいデザインは国内や海外でも高く評価されています。また、女性が出産や育児との両立が出来るように環境整備を進める企業も増えています。</p>
<p>II 南部鉄器（岩手県）</p> 	<p>南部鉄器は鉄製品で、表面の粒のようなデザインが特徴で、保温性が高くて丈夫です。</p> <p>最近では使われなくなった鉄道のレールを原料として南部鉄器を作る企業があり、リサイクルによって新たな価値を持たせています。また、お茶をいれる急須だけでなく、フライパンやなべなどの調理器具もつくり、海外への輸出を積極的におこなっています。</p>
<p>III 輪島塗（石川県）</p> 	<p>輪島塗は漆器で、深みのある黒色や朱色の光沢が特徴で、漆の木から採取される樹液を何度も重ねてぬることで、長い間使えるようになります。</p> <p>最近では石川県で漆の木を守るために植樹・育成を続けています。また、若者を対象とした職人養成プログラムがあり、伝統技術の指導だけでなく、新しいデザインや新商品開発に向けた能力の育成を進めています。</p>
<p>IV 博多織（福岡県）</p> 	<p>博多織は織物で、先に染めた糸で織りこむ独特の模様が特徴で、生地は厚く頑丈です。</p> <p>最近では織物の強さと高級感をいかして、着物の帯だけでなくバッグや財布など洋服にもあう小物や、クッションカバーやランチョンマットなどの日用品をつくっています。また、海外の企業と協力して、ネクタイやスーツの生地にも採用されています。</p>

- 2 ようこさん、たろうさんと先生が話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

先生 「みなさんは、夏休みにどこかへ旅行に行きましたか？」
 ようこ 「私は奈良県に行きました。社会の授業で習った法隆寺や東大寺を実際に見ることができて、楽しかったです。」
 たろう 「私は神奈川県に行きました。江の島や鎌倉の大仏など、色々な場所へ行きました。たくさんの旅行者がいて、海外の方も大勢いました。」
 ようこ 「私も東大寺ではたくさんの外国人旅行者に会いました。こんなにたくさんの外国人旅行者が日本を訪れているんですね。」
 先生 「『外国人が日本へ旅行に来る』ことを『インバウンド』といいます。日本を訪れる外国人旅行者はどれくらい増えているのか、調べてみましょう。」
 ようこ 「調べてみると〔資料1〕が見つかりました。これによると、2019年に訪日外国人旅行者数と出国日本人数の合計が最多となりました。また、この年の訪日外国人旅行者数は10年前と比べると 倍に増えました。」
 先生 「そうですね。他にはどのようなことがわかりますか？」
 たろう 「2004年から2011年までの間では、 。一方で、2012年から2019年までの間では、 。また、2020年から2022年の間には訪日外国人旅行者数も出国日本人数も大きく減少しています。」
 先生 「これは新型コロナウイルスが流行した時期で、観光業も大きな影響を受けました。しかし2024年はほぼ以前の水準にまでもどっていますね。」

〔資料1〕 訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



(観光庁『観光白書』より作成)

(1) 〔会話文1〕の にあてはまる数字を、小数第二位を四捨五入して答えましょう。また、 ・ にあてはまる文を以下のア～カよりそれぞれ選び、記号で答えましょう。

- ア 出国日本人数が毎年増加し続け、出国日本人数が訪日外国人旅行者数を上回るようになりました
- イ 出国日本人数が毎年減少し続け、出国日本人数が訪日外国人旅行者数を下回るようになりました
- ウ 訪日外国人旅行者数が毎年増加し続け、訪日外国人旅行者数が出国日本人数を上回るようになりました
- エ 訪日外国人旅行者数が毎年減少し続け、訪日外国人旅行者数が出国日本人数を下回るようになりました
- オ 出国日本人数と訪日外国人旅行者数の合計の内、出国日本人数が半分以上をしめる^{じょうきょう}状況が毎年続きました
- カ 出国日本人数と訪日外国人旅行者数の合計の内、訪日外国人旅行者数が半分以上をしめる状況が毎年続きました

〔会話文2〕

ようこ 「私は夏休みに旅行することが多いのですが、訪日外国人旅行者も同じように夏休みに増えるのですか？」

たろう 「調べてみると、月ごとの訪日外国人旅行者数の推移をまとめた〔資料2〕が見つかりました。」

先生 「年度によって多少の差はありますが、一般的には3月から4月頃、7月頃、10月頃、12月頃に訪日外国人旅行者数が増加する傾向にあるそうですよ。」

ようこ 「7月頃に日本を訪れる外国人旅行者は、夏休みやバカンスを利用した旅行によるもので、12月頃に日本を訪れる外国人旅行者の目的は雪景色を見たりスキーを楽しんだりするためだと思います。3月から4月頃や、10月頃に増加する目的や理由は为什么呢？」

たろう 「3月から4月頃に日本を訪れる外国人旅行者が増えるのは〔4〕ため、10月頃に日本を訪れる外国人旅行者が増えるのは〔5〕ためではないでしょうか。」

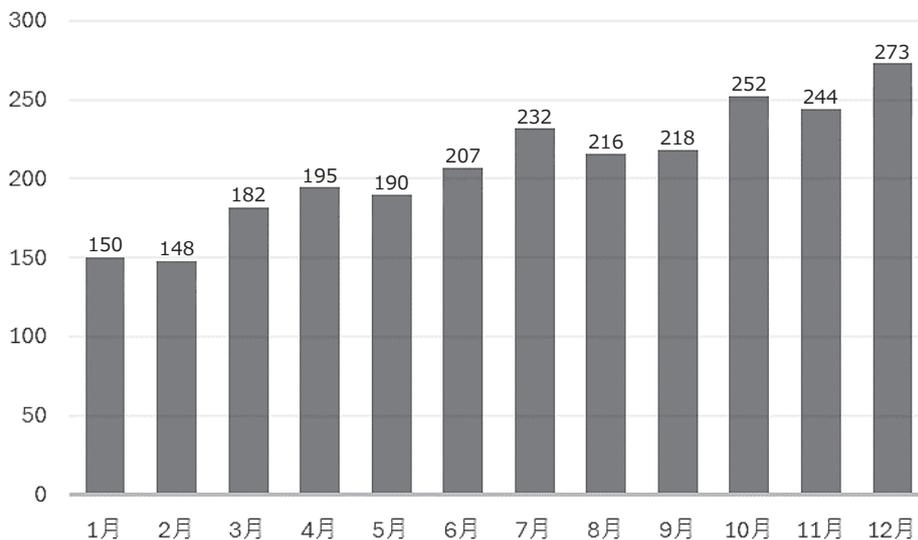
先生 「そういった目的や理由もありますね。時期に応じて、外国人旅行者が日本を訪れる目的もちがうので、そうした目的に応じた旅行者向けの情報発信や広報活動も大切です。」

ようこ 「7月頃に日本を訪れる外国人旅行者は、海水浴などを目的にした人も多いと思うので、海水浴場がどこにあるのかを知ることができるとよいですね。」

先生 「それでは、海水浴場数が多い都道府県を調べて、ランキング表をつくってみましょう。」

〔資料2〕 日本を訪れる外国人旅行者数の推移（2023年）

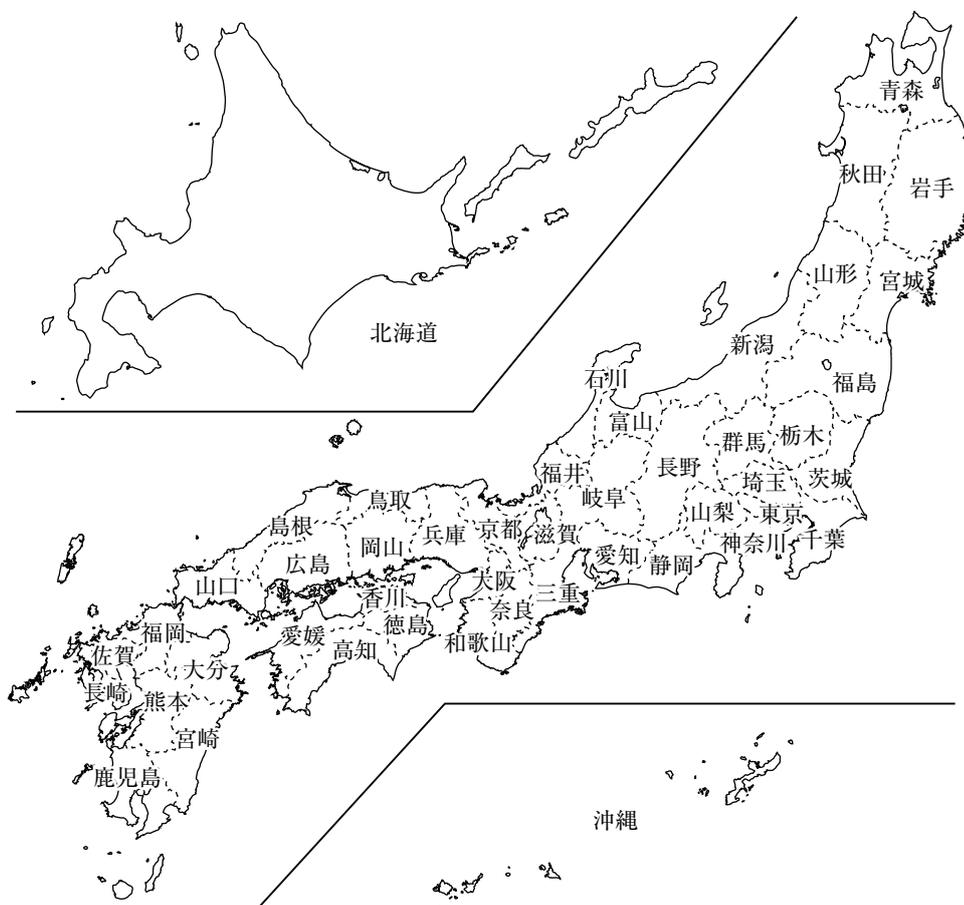
単位：万人



(観光庁ホームページより作成)

(2) 〔会話文2〕と〔資料2〕を参考に、〔会話文2〕の〔4〕・〔5〕にあてはまる文をそれぞれ考えて答えましょう。

- (3) ようこさんは、観光案内のために都道府県を記した地図と、都道府県ごとの海水浴場数を記したランキング表を作りました。以下のア～エのうち、海水浴場数を表すランキング表として正しいものを1つ選び、記号で答えましょう。



ア		イ		ウ		エ	
順位	都道府県名	順位	都道府県名	順位	都道府県名	順位	都道府県名
1	長野県	1	新潟県	1	新潟県	1	鹿児島県
2	新潟県	2	北海道	1	千葉県	2	高知県
3	北海道	3	秋田県	3	長崎県	3	沖縄県
4	福島県	4	山形県	3	静岡県	4	熊本県
5	岐阜県	5	宮城県	3	福井県	5	福岡県
6	群馬県	6	福島県	6	鹿児島県	6	宮崎県
7	山形県	7	茨城県	7	北海道	7	香川県
8	兵庫県	8	栃木県	8	山口県	8	群馬県
9	岩手県	9	千葉県	9	東京都	9	徳島県
10	青森県	10	岩手県	10	沖縄県	10	兵庫県

〔会話文3〕

先生 「訪日外国人旅行者が増加する中で、外国人旅行者が快適な観光を実現するための環境整備を進めることが大切です。そのためにも、日本では訪日外国人旅行者を対象にアンケート調査をおこなっていますが、以前と比べるとかなり変化しているところもあるようです。」

たろう 「2019年と2024年の国・地域ごとの訪日外国人の数と旅行消費額をまとめた〔資料3〕と〔資料4〕を見つけました。」

ようこ 「私は訪日外国人旅行者がどのようなことに困っているのかをまとめた〔資料5〕を見つけました。」

先生 「これらの資料からどのようなことがわかるか、まとめてみましょう。」

〔資料3〕 2019年と2024年の国・地域別訪日外国人数

2019年			2024年		
1位	中国	約959万人	1位	韓国	約882万人
2位	韓国	約558万人	2位	中国	約698万人
3位	台湾	約489万人	3位	台湾	約604万人
4位	香港	約229万人	4位	アメリカ	約272万人
5位	アメリカ	約172万人	5位	香港	約268万人
6位	タイ	約132万人	6位	タイ	約114万人
7位	オーストラリア	約62万人	7位	オーストラリア	約92万人
8位	フィリピン	約61万人	8位	フィリピン	約82万人
9位	マレーシア	約50万人	9位	マレーシア	約51万人
	その他	約474万人		その他	約622万人
	計	約3188万人		計	約3687万人

(観光庁『観光白書』より作成)

〔資料4〕 2019年と2024年の国・地域別訪日外国人旅行消費額

2019年			2024年		
1位	中国	1兆7704億円	1位	中国	1兆7265億円
2位	台湾	5517億円	2位	台湾	1兆897億円
3位	韓国	4247億円	3位	韓国	9602億円
4位	香港	3525億円	4位	アメリカ	9011億円
5位	アメリカ	3228億円	5位	香港	6606億円
6位	タイ	1732億円	6位	オーストラリア	3492億円
7位	オーストラリア	1519億円	7位	タイ	2264億円
8位	イギリス	999億円	8位	シンガポール	2004億円
9位	ベトナム	875億円	9位	カナダ	1765億円
	その他	8789億円		その他	1兆8351億円
	計	4兆8135億円		計	8兆1257億円

(観光庁『観光白書』より作成)

〔資料5〕「訪日旅行中に困ったこと」のアンケート結果

項目	2019年	2024年
入国手続き	1.9%	8.6%
無料公衆無線LAN環境	11.0%	6.1%
両替	2.8%	3.4%
多言語表示の少なさ・分かりにくさ	11.1%	10.8%
公共交通の利用	12.2%	12.3%
飲食店・宿泊施設の情報の手入・予約	2.8%	6.5%

項目	2019年	2024年
トイレの利用・場所・設備	1.6%	3.1%
ゴミ箱の少なさ	23.4%	21.9%
施設等スタッフとのコミュニケーション	17.0%	15.2%
クレジットカードの利用	7.0%	7.8%
鉄道の割引切符	5.6%	5.8%

(観光庁『訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート』より作成)

- (4) ようこさんとたろうさんは、〔資料3〕と〔資料4〕からわかることをまとめました。以下のア～エより正しいものを全て選び、記号で答えましょう。

ア

2019年と比べると、2024年の訪日外国人の総数は約500万人増加しています。そのうち、東アジア（中国・韓国・台湾・香港）の国・地域からの訪日外国人が、どちらも全体の70%以上をしめています。

イ

2019年と2024年の国・地域別訪日外国人数を比べると、最も増加したのは韓国で、300万人以上増加しています。一方、最も減少したのは中国で、200万人以上減少しています。

ウ

2019年と比べると、2024年の訪日外国人旅行消費額は全体で約3.3兆円増加しています。そのうち、東アジア（中国・韓国・台湾・香港）の国・地域の訪日外国人旅行消費額が、どちらも全体の消費額の60%以上をしめています。

エ

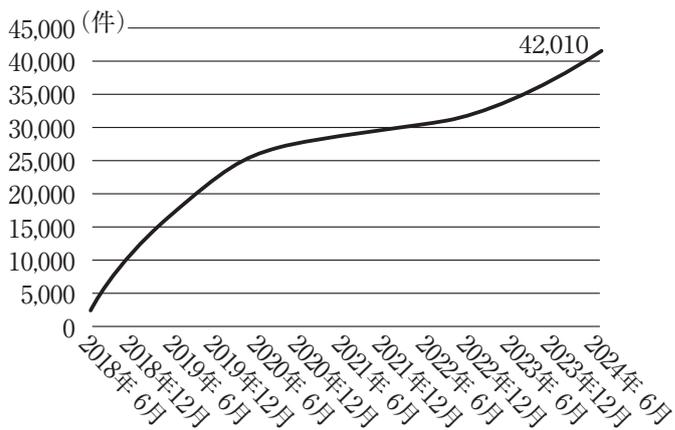
2019年と2024年の国・地域別訪日外国人旅行消費額を比べると、中国からの訪日外国人旅行消費額が最も多く、どちらも1.7兆円以上です。一方で、2019年と比べて2024年の訪日外国人旅行消費額が最も増加したのはアメリカです。

- (5) 〔資料5〕を参考に、2019年と2024年の訪日外国人旅行者の受け入れ環境を比べた時に、改善がみられた点と課題が残っている点をそれぞれ説明しましょう。

〔会話文4〕

- 先生 「訪日外国人旅行者が増加したことで、観光地にたくさんの人が来すぎてしまい、その結果『オーバーツーリズム』という問題がうまれてしまいました。」
- ようこ 「オーバーツーリズムとは、どのような問題なのですか？」
- 先生 「たとえば、訪日外国人旅行者が殺到^{きつとう}することで観光地が混雑したり、ホテルなどの宿泊施設がたりなくなったりします。」
- ようこ 「旅行に来たのに泊まれないのは困りますね。」
- 先生 「宿泊施設の不足をうけて、『民泊』が増えてきました。」
- たろう 「民泊は聞いたことがあります。ホテルや旅館ではない、住宅地にある一軒家^{いっけんや}やマンションを宿泊施設として貸し出すサービスですね。」
- 先生 「そうです。民泊で宿泊できる施設には、ホテルとは異なって冷蔵庫^{すいはんき}や炊飯器などの生活家電が完備されていることが多いので、食事を自分でつくることができます。また宿泊料金がホテルや旅館と比べると安いので、長期での宿泊や複数人での宿泊に向いていると言われています。」
- ようこ 「旅行をしながら、その国に住んでいるような体験ができるのはおもしろいですね。確かに、長期間の滞在^{たいざい}をしたい旅行者は、民泊の方が良いかもしれません。」
- 先生 「最近、訪日外国人旅行者の間では民泊の人气が高まっており、〔資料6〕のように民泊の宿泊施設の届出数も増えています。あいている部屋を使って収入を得られるので、民泊を提供する人にとっても利点があります。一方で、私たちが住んでいる住宅地に民泊の宿泊施設が入りこむことで、訪日外国人旅行者と住宅地の住民の間でトラブルが起こることも増えてきました。」
- たろう 「どのようなトラブルが起こるようになったのですか？」

〔資料6〕民泊の宿泊施設の届出数



(観光庁ホームページより作成)

- (6) 民泊によって、訪日外国人旅行者と住宅地の住民の間でどのようなトラブルが起こることがあるでしょうか。考えられるトラブルの具体例を1つあげ、またそれを解決するためにどのような対策が必要か考えて説明しましょう。

〔会話文5〕

たろう 「そういえば、最近ニュースで『サステナブルツーリズム』という言葉聞いたのですが、どういう意味ですか？」

先 生 「サステナブルツーリズムというのは『持続可能な観光』のことで、^{かんきょう おせん}環境汚染や^{しぜん はかい}自然破壊などにつながる商業化をさけて、地域の自然や文化の保護と観光の両立を目指すことを意味しています。」

ようこ 「観光は楽しむだけではなく、自然環境や文化の保護のことも考えないといけないのですね。」

先 生 「その通りです。たとえば、先ほどの民泊でもトラブルが起こってその地域に住む人の暮らしに影響が出てしまうことはさげなければいけません。『観光で地域社会や経済が元気になる』ことと同時に、『その地域の自然や文化をこわさないようにする』ことも大切であり、日本でもこの観点を取り入れた取り組みが進められています。」

たろう 「サステナブルツーリズムに関して訪日外国人旅行者にアンケートをとった〔資料7〕と〔資料8〕を見つけました。」

ようこ 「私が住んでいる地域にも有名な観光地があるから、サステナブルツーリズムのことをもっと知って、何かできることを考えてみたいです。」

先 生 「すばらしい考えですね！ ようこさんのように、一人ひとりが意識することが、持続可能な未来につながっています。」

たろう 「サステナブルツーリズムは、この前の授業で習ったSDGs（持続可能な開発目標）と共通する考え方ですね。サステナブルツーリズムの取り組みは、SDGsがかかげる17の目標〔資料9〕の達成にもつながりそうです。」

〔資料7〕日本が「サステナブルツーリズム」の旅行先にふさわしいと思う理由（2023年）

記号	項目	割合
①	自然環境の配慮や動物保護など、生態系の保全が適切に行われている	53%
②	節電や節水など省エネが適切に行われている	35%
③	リサイクルや廃プラスチック削減、温室効果ガスの排出削減が適切に行われている	45%
④	歴史的な町並みや工芸品などの文化や伝統がうまく継承できている	51%
⑤	観光事業者がいきいきと働き、観光地が潤っている	35%
⑥	観光地の慣習やマナー等の説明が上手に行われており、かつ守られている	32%
⑦	混雑や渋滞等がなく、ストレスのない環境が整っている	23%

（観光庁 令和5年度『訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート』より作成）

〔資料8〕日本が「サステナブルツーリズム」の旅行先を目指す上で改善すべき点（2023年）

記号	項目	割合
①	自然環境の配慮や動物保護など、生態系の保全への配慮が不足している	9%
②	節電や節水など省エネ対策が不足している	8%
③	リサイクルや廃プラスチック削減、温室効果ガスの排出削減努力が不足している	11%
④	歴史的な町並みや工芸品などの文化や伝統が継承されているとは言えない	6%
⑤	観光事業者がいきいきと働き、観光地が潤っているとは言えない	6%
⑥	観光地の慣習やマナー等の説明が不足している	12%
⑦	混雑や渋滞等の対策が不足している	14%

（観光庁 令和5年度『訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート』より作成）

〔資料9〕SDGs（持続可能な開発目標）



（国際連合広報センター）

SDGsの目標

番号	目標	番号	目標
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓 ^{きが} をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉 ^{ふくし} を	12	つくる責任つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさも守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤 ^{きばん} をつくろう		

(7) 地域社会や自然環境や文化を守りながら、地域の人・訪日外国人旅行者・そして未来の世代にとっても「持続可能な観光」を実現するために、あなたならどのような取り組みを行いたいですか。また、その取り組みはSDGsのどの目標の達成につながりますか。〔資料7〕～〔資料9〕を参考にしながら、100字から120字で書きましょう。

ただし、以下の書き方を守りましょう。

- ・〔資料7〕の項目を書くときは、①～⑦で書きましょう。
- ・〔資料8〕の項目を書くときは、①～⑦で書きましょう。
- ・〔資料9〕の目標を書くときは、1～17で書きましょう。

受験番号	氏名

下の欄には
記入しない

1

(1)

1	2
3	

1

(1)

(2)

cm^2

(2)

(3)

(3)

(4)

(4)

(5)

A	B
---	---

(6)

(7)

下の欄には
記入しない

(5)

(6)

(7)

